

基板 LANdeVOICE の入出力接点の動作モードの設定は以下のパラメータにより行います。

## ○ 接点入力用パラメータ “ SPPSW ”

設定値は以下を参考にして、選択してください。

<b>&lt;接続・切断の制御可能&gt;</b>	
SPPSW MSIG	<p>入力接点(CN8)のショートにより接続・切断が可能です。 発信時、入力接点(CN8)をショートさせると phone.ini の“S01”にて指定した先へ発信します。 着信時、DLYCONN パラメータは無効になるため自動着信はしません。 入力接点(CN8)のショートで着信します。 この設定値のときは、発信側でも着信側でも入力接点(CN8)のオープンで切断が可能です。</p>
<b>&lt;発信のみ制御可能、切断はリモートからのみ&gt;</b>	
SPPSW MSIGON	<p>入力接点(CN8)を一度ショートさせるだけで発信が可能です。 発信時、一度入力接点(CN8)をショートさせると phone.ini の“S01”にて指定した先へ発信します。呼び出し中での断はできないので誤操作にご注意ください。 なお、発信しても相手に応答しない場合は、60 秒で自動切断しスタンバイ状態に戻ります。 着信時は DLYCONN が有効になるため自動着信が有効になります。 ただ、切断はリモートからしか行えず、接続先からの切断か、ハイパーターミナル等からの HOOK コマンドで切断となります。 ※PBSP-BL でマイク・スピーカー同士で接続する運用で、どちらか一方を MSIGON にした時は、もう一方は TOGGLE か MSIG にすることをお奨めします。発着信どちらも MSIGON で使用する際は、運用方法を要検討の上、設定を行ってください。</p>
<b>&lt;入力接点の無効化&gt;</b>	
SPPSW NONE	<p>この設定値のとき、入力信号は常時無視します。入力接点(CN8)による接続・切断は行えません。</p>

## ○ 接点出力用パラメータ “OUTCTRL1”

syscnfg.ini ファイルにて "OUTCTRL1 mode parm" 設定をします。  
用途によって” mode ”を選択し、” parm ”にて詳細設定を行います。

### ■ 制御用設定 (mode : 1)

主に制御用に利用することを想定としています。

**\* 以下の記述を syscnfg.ini へ追加します**

```
OUTCTRL1 1 0
```



半角スペース

着信時・発信時に ON となり通話時では ON のまま、切断完了で OFF に戻ります。  
parm は 0 としてください。

### ■ 着信表示用設定 (mode : 2)

着信してからリレーを ON する期間 (単位 : 秒) を 2 つ目の引数(parm)で設定します。

**\* 記述例 (parm は任意で変更可能)**

```
OUTCTRL1 2 5
```



半角スペース

上記だと着信時 5 秒間 ON となります。parm を 0 に設定した場合、着信時に ON となり通話開始で OFF に戻る設定になります。

以上